

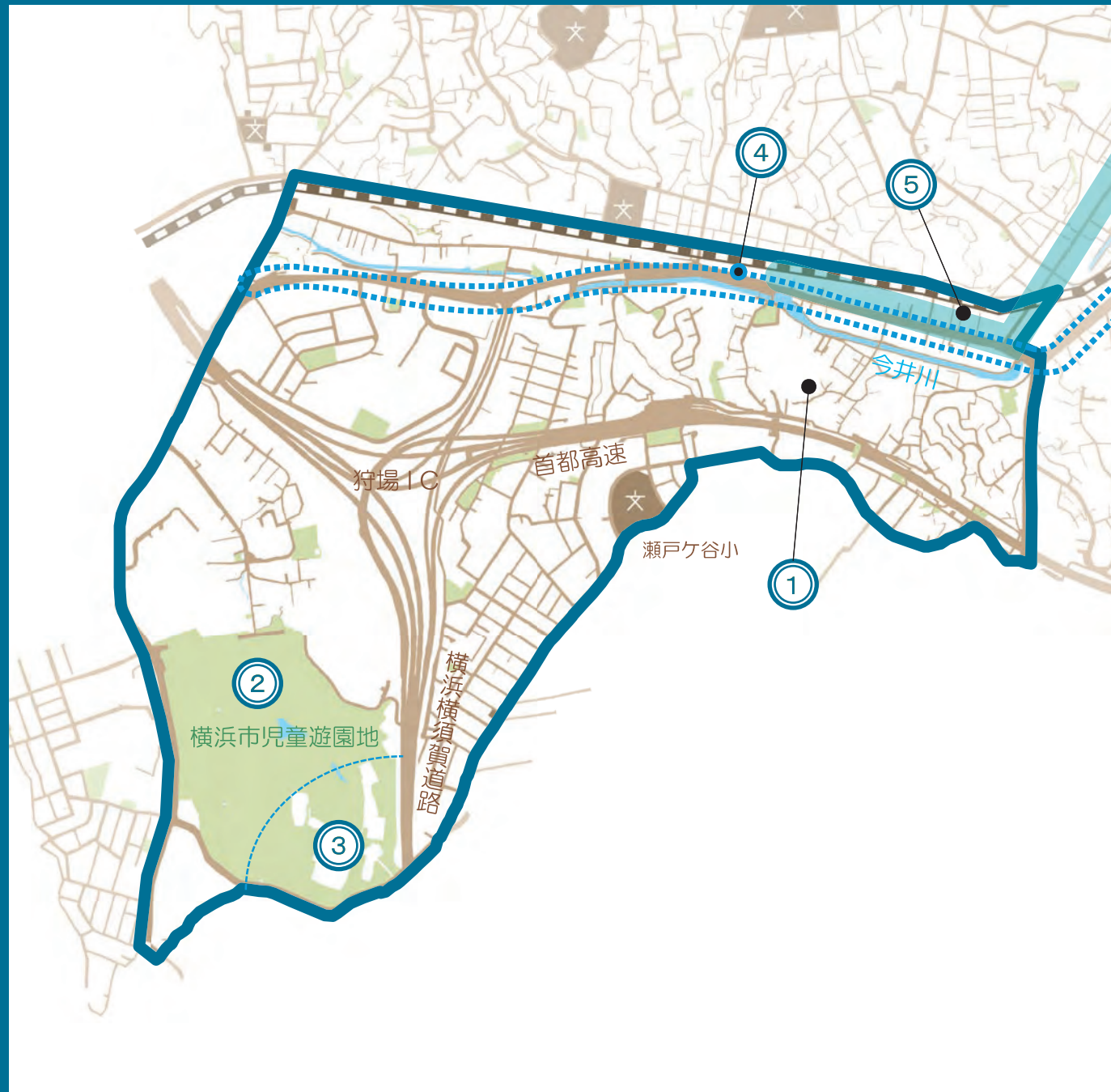
# 緑と水と歴史エリア



## まちの魅力 インデックス



- ① はちまんしゃ  
八幡社
- ② 児童遊園地のいまむかし
- ③ 歩いていく 異国～英連邦墓地～
- ④ 保土ケ谷の歴史をキーワードにまちをPR
- ⑤ 保土ケ谷は宿場4番バッター
- ⑥ 保土ケ谷宿名物会 (※マップは該当ページ参照)





創建は鎌倉時代末期、1318年で祭神は応神天皇。

本殿(敷地外からは見えない)は、江戸時代初期の建立と伝えられる。明治6年、村社となる。境内社として、菊水観音出現跡の霊水の由緒がある。鳥居に向かって右にやや上ると、格子戸が付いた建物の中に井戸が見られ、今でもわずかに湧き水がある。昔からこの霊水を飲み続けると病気が癒え、この水で目を洗うと眼病が治るといわれている。

「菊水観音」には、古代中国の周王の侍者が山奥へ流され、そこで菊の露を飲んで不老不死となって、観音に姿を変えたという伝説がある。わが国では、後醍醐天皇に忠節を貫いた楠木正成父子が菊水紋を用い、死後、皇室護持の神仏「菊水観音」になったと伝えられている。

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

①

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

①

歴

史

探

訪



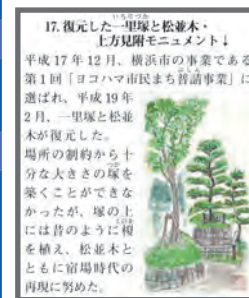
この八幡社以外にも、保土ヶ谷区内にはたくさんの神社仏閣があります。

旧東海道沿道を中心に神社仏閣をはじめとして、歴史的な建造物などを手描きのイラストで紹介したパンフレット「歴史を歩いてみよう」を、区役所で配布しています。

マップを片手に、たまにはいつもと違った一日を過ごしてみたいかがでしょうか。

## 「歴史を歩いてみよう」

イラストはこのページの編集者の村田さんがすべて描いています！



私が「岩崎小学校」に入学したのは、昭和12年4月のことである。小学校では、一年生になると、遠足は必ず「児童遊園地」であった。太平洋戦争が始まった昭和16年12月までは、私たちはよく「児童遊園地」のプールやシーソーで遊んでいたのを今でも覚えている。当時は、現在よりも木々が多く、周辺も静かで、グリーン一色の景色が広がっていた。

その児童遊園地も、戦後の接收により英連邦軍の戦死者墓地となり、現在の英連邦墓地の場所が、私が遊んでいた児童遊園地ということになる。そして、昭和32年から、隣接地を児童遊園地として整備し、今の形となった。



現在の英連邦墓地

いま



昭和5年頃の児童遊園地

(山の上に忠魂碑が見える)

児童遊園地

絵：村田啓輔

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

②

ほどがや語りべ集

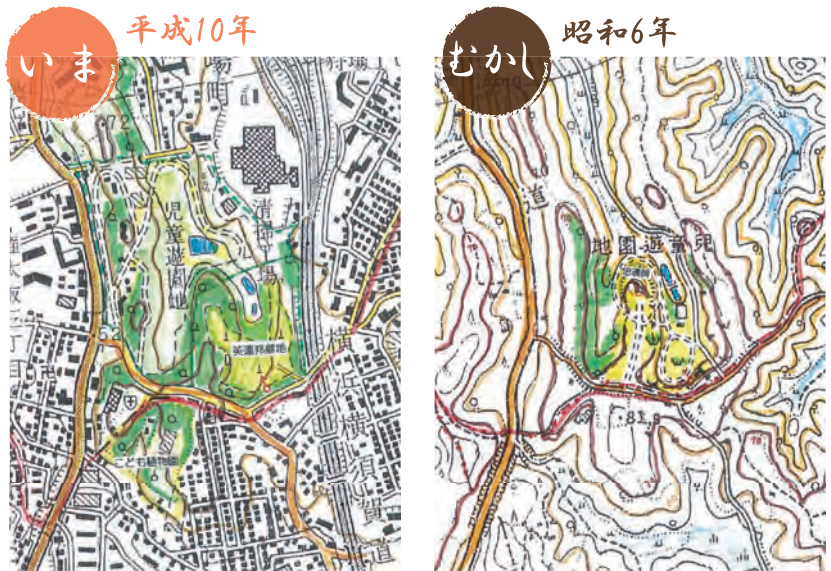
緑と水と歴史エリア

②

～地図で見る！

児童遊園地のいまむかし～

下の地図で戦前～戦後の児童遊園地と周辺地域の変化を確認することができる。



語りべの一言…

子どもの頃に「児童遊園地」があった、現在の「英連邦墓地」を見たのは、「ほどがや語りべ会」でのまち歩きが初めてとなった。この会で、このコースを担当していなければ、「歩」を進めていなかったと思う。

数十年ぶりにあの“地”に立ち、見まわしてみると、少年の頃の私の前に今昔の姿が私の脳裏をあたかも走馬灯のごとくかけめぐるのであった。

◆◆◆この魅力の語りべは、吉川 明さんです。



車が往来する道路から門を一步入る。うっそうとした木々に囲まれた石畳の道は静寂に包まれ、足音だけが響く。一瞬にして、どこか外国にいるような錯覚にとらわれる。しばし歩を進めると、パッと明るい芝生の広場が目の前に広がる。芝生の中には西欧風の墓石が整然と並び、近づくと墓石のそばに可憐な花が。手入れが行き届き美しい。

小さな異国が、歩いて行けるところにあった。

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

③

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

③

静かに目を閉じ、  
平和を願う。

英連邦墓地（横浜戦死者墓地）は、主に第二次世界大戦下、日本で亡くなった英連邦各国の捕虜の墓地として国内唯一のもの。英連邦戦死者墓地委員会が維持管理している。英国から女王はじめ王室の方々や政府要人などが、来日時に訪れている。

英国と日本を結ぶ重要な接点の一つでもある。



英連邦墓地の区画

- ◆イギリス区
- ◆オーストラリア区
- ◆カナダ・  
ニュージーランド区
- ◆インド・パキスタン区
- ◆戦後区

【オークの葉】

イギリスの墓地の区画にはオークが植樹されている。他にもオーストラリア区画にはユーカリの木があり、国ごとに趣が異なる。

◆◆◆この魅力の語りべは、千葉 景子さんです。



## 保土ヶ谷宿場まつり

平成24年で23回目を迎えた毎年10月に開催される保土ヶ谷宿場まつり。

東海道をキーワードとし、歴史を活かしたまちづくりをテーマに、地元の商店主・地域住民たちが、保土ヶ谷の歴史をアピールするためのまつりを立ち上げようと、他都市の宿場まつりを視察し、また行政や企業に呼びかけ、JR保土ヶ谷駅を中心とした保土ヶ谷宿場まつりがはじまった。

今では子どもから大人までが歴史を楽しむ、保土ヶ谷の宿場をほうふつさせるまつりとなった。



ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア



言わずと知れた、予選会を通過した大学が大手町読売新聞東京本社前から箱根・芦ノ湖間を往復10区間で走る駅伝である。もうひとつの特徴として、箱根駅伝は東海道をコースとしている。

私の記憶の中では、以前は国道沿いに立ち、手旗を振って応援していた。10年くらい前から、テレビで放映している事から、コースに面した商店街等は「より多くの人に商店街やまちを知ってもらおう」と、イベントを行うようになった。

そういった変化も含めて、箱根駅伝はこのまちの人々にとって、正月にかかせない行事であることは間違いない。

美しい松並木プロムナードをこえると、全国的に有名となった坂、「権太坂」が待ち受けるのである。



花の2区  
松(待っ)の9区



ほどがや語りべ集

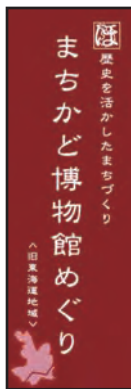
緑と水と歴史エリア

## 保土ヶ谷宿

は起点の江戸・日本橋から数えて、品川、川崎、神奈川と続いて4番目の宿場町である。宿場とは、旅行者の宿泊・休息のための宿屋・茶屋や、人馬の中継をする設備をもった、現在のターミナル駅のようなものであった。東海道宿場制度を成立させたのは、江戸幕府を開いた「徳川家康」である。当時の旅人は、がんばって隣の戸塚宿までいか、難所である「権太坂」を前にあきらめて保土ヶ谷宿で泊まるか、迷ったのではないだろうか。正式な場所は特定されていないが、保土ヶ谷宿は、保土ヶ谷本陣を中心として、今の天王町商店街から外川神社までの約2kmであったといわれている。神奈川宿のように海が見えるような宿場ではなく、山に囲まれていたが、店などが多くあったといわれている。

もっと知りたい！そんなあなたに・・・  
保土ヶ谷区内の旧東海道を紹介  
しているマップがあります！

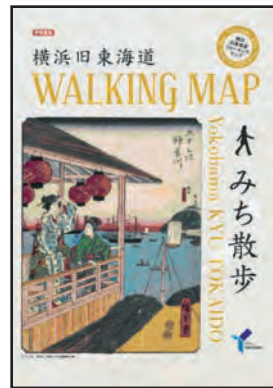
※保土ヶ谷区役所で配布中！



まちかど博物館長とのふれあい楽しい！



保土ヶ谷区内の旧東海道沿道の神社仏閣などが盛りだくさん！



横浜市内の旧東海道マップ  
市内の街道めぐりが楽しめる！

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

⑤

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

⑤

## 保土ヶ谷宿みどころ

保土ヶ谷区内の旧東海道は、洪福寺松原商店街を起点として、天王町商店街、帷子町一丁目さつき会、保土ヶ谷駅西口商店街、と商店街めぐりの道でもあるのです！

### ■天王町駅前公園

帷子橋(新町橋)は葛飾北斎や歌川広重などの浮世絵の題材として有名！昭和40年頃に、天王町駅の南側から現在の位置に河川改修が行われ、跡地の天王町駅前公園には、帷子橋跡モニュメントがあります。



### ■岩間市民プラザ

文化・福祉・国際交流など、さまざまな人たちの活動拠点になっています。入口前に「保土ヶ谷宿跡の碑」があります。昭和44年までは保土ヶ谷区役所があり、その後、平成3年に岩間市民プラザが開館しました。

### ■金沢横丁の石碑

この地は金沢や鎌倉への分岐点。四基の道標があり、その一基には、「程ヶ谷の枝道曲がれ梅の花」と杉田梅林への道を示す俳句が刻まれています。



### ■保土ヶ谷本陣跡

1601年に徳川家康より「伝馬朱印状」が「ほどがや」宛てに出されたことで、保土ヶ谷宿が成立。東海道を往来する幕府の役人や大名は、宿場に設置された本陣に宿泊しました。

※個人宅につき、外観のみの見学となります。

### ■旅籠本金子屋跡

格子戸や通用門が当時の旅籠の雰囲気を伝えています。現在の建物は明治時代の建築物です。

※個人宅につき、外観のみの見学となります。



◆◆◆この魅力の語りべは、柴田 裕一さんです。

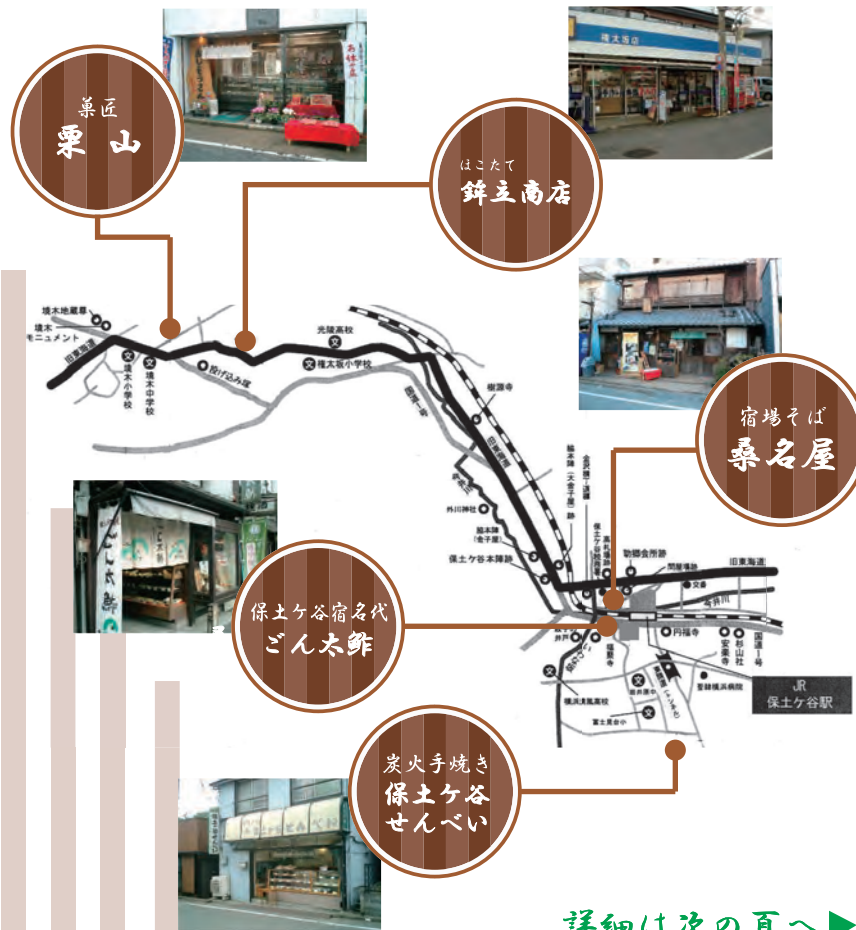
## “味”で知る！ 東海道・保土ヶ谷宿

京都・三条大橋と江戸・日本橋を結ぶ、江戸時代から続く、日本のメインストリート「旧東海道」。

保土ヶ谷区にはその旧東海道が通っており、400年以上の歴史があります。そんな歴史を「食」で語り継ぐ団体が、保土ヶ谷区内には存在します。その名も「保土ヶ谷宿名物会」。

ぶらり歩いて、歴史を『味わう』ことができます。

### 【名物会マップ】



詳細は次の頁へ▶

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

6

ほどがや語りべ集

緑と水と歴史エリア

6

## 名物会

保土ヶ谷「食」の旅に出かけよう！



### 炭火手焼き 保土ヶ谷せんべい

伝統技法で手間を惜しまず、愛情たっぷりに焼き上げる本格的炭火焼のおせんべい。

上下に炭を備えた窯で両面を同時に焼き上げる、昔ながらのこだわりの味を楽しめる。

### 保土ヶ谷宿名代 どん太餅

保土ヶ谷に美味しい餅を食べさせるお店があったという伝統を、今も伝えている。東海道の旅人の「振り分け荷物」に見立てた「道中いなり」は、看板商品の一つ。



### 宿場そば 桑名屋

そばと保土ヶ谷を愛する人に愛される老舗。

宿場町時代をイメージした外観はもちろん、店内にも保土ヶ谷の歴史と縁深いものがたくさん！



### ほこたて 鉾立商店

箱根駅伝で有名な「権太坂」で創業約45年の、地域に密着したミニスーパー。『純米酒・権太坂』など、オリジナルブランドで販売している日本酒・焼酎は保土ヶ谷宿名物。



### 菓匠 栗山

「境木おじぞうさんもなか」、「どん太餅」など、境木周辺を中心に、保土ヶ谷宿の名所旧跡を表現した幅広い商品で人気の和菓子店。



◆◆◆この魅力の語りべは、保土ヶ谷区役所です。